

授業科目	女性史				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	EN10304J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	倉富 史枝							
授業概要	明治期以降の日本の女性史を解説し、現在に続く問題の所在を確認する。まず、近代日本の女性史を学ぶ意義について確認する。その後、産業化が女性の民主化をもたらさなかった歴史を、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀とたどる。特に、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響に注意を払いながら授業を進める。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近代日本の女性史と現代の女性の現状との関係について説明できる。 2. 明治から戦後に至る女性史の流れを大筋で説明できる。 3. 近代日本における女性の位置づけについて説明できる。 4. 現在に続く女性問題の所在を確認し、問題解決を主体的に考えられる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	10	10	10	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	70		10	10	10	10	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 明治から現在に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識をよく理解し、これからの女性のあり方を主体的に考えることができる。 2. 講義の内容について、他の人に正確に説明できる。				1. 明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解している。 2. 講義の内容について、他の人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	テーマ:近代国家と女子教育 明治維新後の近代化に伴い良妻賢母教育が輸入さ			講義	復習:当該部分の復習		45	

	れた経緯と職業婦人の誕生について解説する。			
2	テーマ:主婦の誕生 明治末期から大正にかけて生まれた「新しい主婦像」について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
3	テーマ:階級社会における労働婦人 産業化による女性の労働者化と過酷な労働環境について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
4	テーマ:女性誌が伝えたこと 明治末期に創刊された女性誌が与えた影響について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
5	テーマ:国民総動員と「婦人」 戦時下における「婦人」の国家的意味と女性運動の転向について解説する。	講義	復習:当該部分の復習 レポートの作成	90
6	テーマ:女子短大ブームとは 戦後の女性の高学歴化をもたらした女子短大の登場について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
7	テーマ:恋愛結婚から専業主婦へというコース 高度経済成長期に進んだ性別役割分業について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
8	テーマ:脱専業主婦がもたらすもの 性別役割分業社会の終焉と女性が働く意味について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本史及び世界史における近現代史。			
テキスト	落合恵美子『21世紀家族へ(第3版)家族の戦後体制の見かた・超え方』有斐閣、2004年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	斎藤美奈子『モダンガール論』文春文庫、2003年			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	明治維新後の近代化の歴史は遠い昔の話ではなく、今なお結婚制度や教育政策、家族政策に影響を与えています。その中であって、どのように主体的な生き方を選び取るか、授業の中で一緒に考えていきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験及びレポートの内容については、授業の中で指示します。 その他については、教員の問いに対する回答など授業への積極的な参加で評価します。			